



本当に必要？ 救急車はいのちをつなぐ乗り物です。適正利用にご協力を！

活動に活用いたします。  
 今回、計141件ご応募いただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

入選作品は、広報紙・ホームページに掲載するなど、幅広く火災予防活動に活用いたします。

「小さな火 わずかな油断 火事のもと」  
 宮田晴香さん

「見落とすな 炎のシグナル 発信中」  
 田口美鈴さん

「消し忘れ たった一度で 悔い残る」  
 谷畑 佑典さん

「二度みて 二度確認で 防火の輪」  
 玉垣 百海さん

【優秀賞】

「第5回 防火の詩(うた)」  
**入選作品発表**

# 消防だより

有田川町消防本部 ☎52・5950  
 吉備金屋消防署 ☎52・5950  
 清水消防署 ☎25・1243  
 病院紹介(和歌山県救急医療情報センター)  
 ☎073・426・1199

今年の出動など(累計)

火災……………2件  
 救急……………139件  
 救助……………2件  
 (平成29年1月31日現在)

## 春の火災予防運動

(3月1日～7日)

空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎え、住民一人一人の火災予防の意識を高めることを目的として、全国一斉に火災予防運動が実施されます。  
 同時に、この時季は風の強い日が多く、山火事も発生しやすくなることから、全国山火事予防運動も行われます。



## 平成 28 年 火災状況

### 火災概要

	平成 28 年	平成 27 年	前年比
火災件数	13	10	3
火災種別 (件種別)	建物	6	1
	林野	1	1
	車両	1	1
	その他	5	0
建物焼損面積 (㎡)	270.76	296.06	-25.3
林野焼損面積 (a)	28	0	28
焼損額 (円)	1,950 万 5,000	778 万	1,172 万 5,000

### 主な火災要因

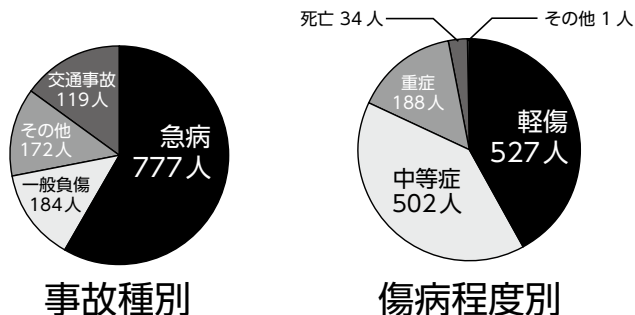
	平成 28 年	平成 27 年	前年比
焼却火・たき火	5	6	-1
コンロ	2	0	2
放火・放火の疑い	1	2	-1
電気関係	0	1	-1

平成 28 年は火災が 13 件発生し、前年に比べて 3 件増加しました。幸い、火災による死者はいませんが、建物火災で 3 人負傷しました。

住宅用火災警報器が作動し、早期に発見され、消火や避難につながったケースもあります。寝室には住宅用火災警報器を取り付けてください。

火気を使用する場合は、十分注意しましょう。

## 平成 28 年 救急搬送状況

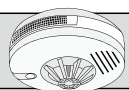


平成 28 年に救急車で搬送された人は 1,252 人でした。そのうち、ドクターヘリで 61 人が搬送されました。

急病のうち、65 歳以上の方が搬送されたケースが最も多く、全体の 42% (528 人) です。程度別では 42% が軽傷でした。

救急車の適正利用にご理解をお願いします。

- ※軽 傷／入院加療なし
- 中等症／3 週間未満入院
- 重 症／3 週間以上入院



付けましたか？  
**住宅用火災報知器**

全ての**寝室**と**階段**(2階に寝室がある場合)に必要です。正しい場所に設置されているか確認してください。